

大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供委託事業

長野晃輔

目 的

大型クラゲ（エチゼンクラゲ）等の出現・分布状況を、試験船による洋上調査及び県内漁協・漁業者からの聞き取り等により迅速に把握し、漁業者等に情報提供して漁業被害の軽減を図る。

材料と方法

1. 洋上調査

2024 年 9 月 2～4 日に試験船開運丸により本県日本海沖で大型クラゲ目視調査を実施した。

2. 出現量調査

キタミズクラゲは電話や当研究所が発行する漁海況速報等で情報収集を依頼し、大型クラゲは県内の全漁協に対して出現状況（日別、漁協別、漁業種類別）について、メールや F A X 等により情報収集を依頼し、本報告では 2024 年 8 月～2025 年 1 月分をとりまとめた。

3. 標本船調査

キタミズクラゲは 2024 年 5 月から 7 月にかけて、太平洋側に位置する六ヶ所村漁業協同組合所属の小型定置網漁業者 1 名に標本船調査を依頼し、入網状況について日報の提出を受けた。大型クラゲは 2024 年 8 月から 2025 年 1 月にかけて、日本海側に位置する新深浦町漁業協同組合所属の小型定置網漁業者 1 名に標本船調査を依頼し、入網状況について日報の提出を受けた。

結 果

1. 洋上調査

調査実施期間において、大型クラゲの出現は確認されなかった（表 1）。

2. 出現量調査

(1) キタミズクラゲ

大量出現の情報はなかった。

(2) 大型クラゲ

2024 年度は、日本海で 231 個体、津軽海峡で 43 個体、陸奥湾で 1 個体、太平洋で 2,735 個体の出現報告があった。出現時期としては 2020 年に続いて過去で 2 番目に早く、8 月 18 日に新深浦町北金ヶ沢沖（小型定置）で出現し、以降は 11 月 21 日に六ヶ所村泊沖（小型定置）で入網するまで続いた。全海域の集計では、8 月に 162 個体、9 月に 940 個体、10 月に 1,889 個体、11 月に 19 個体であり、10 月のピーク後に急減した。出現個体数としては計 3,010 個体で過去 10 年間（2014 年～2023 年）の中で最多であったが、大量出現のあった 2005 年～2009 年と比較すると皆無に近い低水準であった。

これらについては、(一社)漁業情報サービスセンターへ報告したほか、当研究所が発行する漁海況速報に掲載し、漁業関係者へ情報提供を行った。

3. 標本船調査

(1) キタミズクラゲ

標本船調査は期間を通してキタミズクラゲの出現は極めて少なく、サイズは傘径 20 センチ以下であった(表 2)。また、本年度は標本船調査の期間外でもキタミズクラゲの大量出現の情報は一切なかった。

(2) 大型クラゲ

8 月～10 月にかけて、大型クラゲの小規模な出現があった(表 3)。

表 1. 2024 年度大型クラゲ目視調査結果

調査月日	表面水温	目視個体数	調査船名
9月2日～4日	25.6～28.0℃	0	開運丸

表 2. 2024 年度キタミズクラゲ標本船調査結果(六ヶ所村漁協、小型定置網)

月	調査 日数	乗網日数 (%)	個体数			水温 (℃)	被害の 有無
			大型 (31cm以上)	中型 (21～30cm)	小型 (11～20cm)		
5	3	0(0.0)	0	0	0	－	なし
6	7	7(100.0)	0	0	31	13～17	なし
7	8	8(100.0)	0	0	58	17～21	なし

表 3. 2024 年度大型クラゲ標本船調査結果(新深浦町漁協、小型定置網)

月	調査 日数	乗網日数 (%)	個体数			水温 (℃)	被害の 有無
			大型 (100cm以上)	中型 (51～99cm)	小型 (50cm以下)		
8	21	2(9.5)	0	1	4	－	なし
9	12	3(25.0)	16	0	0	－	なし
10	25	5(20.0)	18	0	0	－	なし
11	21	0(0)	0	0	0	－	なし
12	22	0(0)	0	0	0	－	なし
1	18	0(0)	0	0	0	－	なし